

令和9年度 岡谷市立（新校名）義務教育学校 グランドデザイン（Ver.2.1）26/03/06

【共有したい子ども観】

子どもは、本来、自らの内に「知りたい」「できるようになりたい」「〇〇のようになりたい」という思いを抱き、よりよく生きようとしている存在である

【第3期岡谷市教育大綱】

自立し、共生し、想像力溢れる『おかやのひと』づくり

【学校教育スローガン】

生き抜く力と想像力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

【幼児教育・保育目標】

- 明るく元気に学び、自ら行動できる子ども
 - 自分を大切にし、相手を思いやるやさしい子ども
 - よく考え豊かに想像し、自分なりに表現できる子ども
- （「めざす子ども像」より）

【学校教育目標】

自立し、共生し、幸せな未来を拓く

【前期課程 めざす子ども像】

- 自らいどむ…自ら学び、よりよく問題を解決しようとする子
- 自らつなぐ…人とつながり、共に支え合おうとする子
- 自らつむぐ…よりよい未来を創造しようとする子

【後期課程 めざす子ども像】

- 自立…自他を大事に、自ら考え、判断し、責任をもって行動する子
- 共生…多様性を認め合い、他者の考えに学び、自分の考えを広げたり深めたりする子

【特色ある教育課程】 ～「憧れ」と「慈しみ」の中で～

認定子ども園				前期課程					後期課程			
「根」を伸ばし — 活動力 —				「芽」を育み — 自制力 —			「葉・枝・幹」を育て — 共感力 —		「花」を咲かせる — 調整力 —			
未満児	年少	年中	年長	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
教員・ALT等の乗り入れ体験授業				学級担任制（単元テスト）					教科担任制（定期テスト）			
				児童会				学友会				
				運動会・音楽会					文化祭・合唱コンクール			
集会・あそび・教科（図工美術・英語・体育・総合的な学習の時間等）など、多様な交流活動や合同授業を柔軟に計画												

【学校運営の重点】

探究的な学びの充実

- ◎生活科・総合的な学習の時間「えがおにじいるタイム」（前期課程）と「岡谷未来の時間（花咲く丘プロジェクト）」（後期課程）の充実
- ・「やりたいこと」を心ゆくまで探究し、豊かな体験と失敗を乗り越える経験を通して、剥がれ落ちることのない本物の学力を
- ・地域とつながり「川岸」に学ぶ（岡谷スタンダードカリキュラム）の活用
- ・個人探究、グループ探究
- ◎教科も探究的に学ぶ
- ・「問い」を大切にしたい授業づくり

子どもが主体の授業づくり

- ◎対話・言語活動の充実
- ・「問い」から生まれ、対話することで考えや思いを深める子ども主体の授業へ
- ◎個別最適な学びの推進
- ・自分のペース、方法、環境で取り組む学習の構築
- ◎子どもが自ら取り組む家庭学習への転換
- ・計画を立て、振り返ることで深める自主学習により「勤勉性」を育む
- ・自律的な探究学習に挑戦する場に

自己肯定感・自己有用感の向上

- ◎児童会・学友会活動の充実
- ・児童会・学友会の連携・交流の推進
- ◎児童生徒の学校運営への参画
- ・子どもが主体の行事運営
- ・子どもの問題意識を大切にしたい「きまり」の見直し
- ◎集会活動の充実（前期、後期、全校等様々な単位で）
- ◎児童生徒の自主的活動を認め、広げ、後押しする教師の働きかけ

自立し、共生し、幸せな未来を拓く

誰一人取り残されない学校づくり

- ◎人権教育の充実
- ・なかよし（人権）旬間、いじめ根絶の取組
- ・情報モラル教育、道徳教育、平和教育の推進
- ・命を守る防災安全教育（反射タスキの着用）
- ◎特別支援教育を真ん中に
- ・インクルーシブ教育の推進（ユニバーサルデザイン化・個に応じた合理的配慮）
- ・通級教室と原学級との連携支援
- ◎多様性を包み込む環境づくり
- ・スマイル教室、サポートルーム、自立支援教室の効果的運営

教職員も子どもと共に育つ学校に

- ◎児童・生徒理解を原点に
- ・子どもへの眼差し、人権感覚を磨く
- ・子どもの主体的学びを支える伴走者に
- ◎自身を省察し、常に学び続ける教師に
- ・校外研修・校内研修・OJT・教師相互の対話の充実
- ◎チーム・組織で取り組める職員集団に
- ・分担を明確に、のりしろを厚く
- ◎働き方を見直し、ワークライフバランスを大切に

地域と「ともそだち」の学び舎

- ◎川岸コミュニティ・スクール
- ・学校運営協議会の学校運営への参画
- ◎地域学校協働本部（安全部・健全育成部・学校支援部）の充実
- ・ふれあいパトロール・とちっ子ひろば・自然の玉手箱・おはなしポケット・ともそだちボランティア等
- ・大人も子どもと共に育つ場に
- ◎家庭との連携とPTA活動のシン化